2012年10月31日

各　　位

会 社 名　株式会社　東芝
東京都港区芝浦１－１－１
代表者名　代表執行役社長　佐々木　則夫
（コード番号：6502　東、大、名）
問合せ先　広報室長　　長谷川　直人
Tel　03-3457-2100

第２四半期連結累計期間業績予想と実績の差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ

2012年５月８日に公表した2012年度上期（第２四半期連結累計期間）の連結決算の業績予想と実績に差異が生じましたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、2012年５月８日に公表した2012年度通期の連結決算の業績予想を修正しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

１.2012年度第２四半期連結累計期間業績予想と実績との差異

	売上高	営業損益	継続事業税引前四半期純損益	当社株主に帰属する四半期純損益	１株当たり当社株主に帰属する四半期純損益
前回発表予想（A）	30,000億円	900億円	350億円	200億円	４円72銭
実　績　値　（B）	26,859億円	690億円	430億円	252億円	５円95銭
変動幅　（B－A）	△3,141億円	△210億円	＋80億円	＋52億円	＋１円23銭
増減率	△10.5%	△23.3%	＋22.9%	＋26.0%	―
(ご参考)前年同期実績	29,125億円	790億円	382億円	203億円	４円80銭

＜差異が生じた理由＞

2012年度上期において、社会インフラ部門は全体として大幅な増収、増益になりましたが、市場環境の悪化等によりデジタルプロダクツ部門、電子デバイス部門等が減収、減益になったため、売上高及び営業損益は予想値を下回りました。一方、継続事業税引前損益及び四半期純損益は為替決済差損益の改善、資産軽量化の効果等により堅調に推移し、予想値を上回りました。

２.2012年度通期連結業績予想の修正

	売上高	営業損益	継続事業税引前当期純損益	当社株主に帰属する当期純損益	１株当たり当社株主に帰属する当期純損益
前回発表予想（A）	64,000億円	3,000億円	2,100億円	1,350億円	31円88銭
今回発表予想（B）	61,000億円	2,600億円	1,900億円	1,100億円	25円97銭
変動幅（B－A）	△3,000億円	△400億円	△200億円	△250億円	△5円91銭
増減率	△4.7%	△13.3%	△9.5%	△18.5%	―
（ご参考）前期実績	61,003億円	2,027億円	1,456億円	701億円	16円54銭

＜セグメント情報＞

	売上高		営業損益	
	今回予想	前回予想	今回予想	前回予想
デジタルプロダクツ部門	15,400 億円	17,100 億円	50 億円	150 億円
電子デバイス部門	13,200 億円	16,400 億円	800 億円	1,000 億円
社会インフラ部門	27,100 億円	26,000 億円	1,800 億円	1,650 億円
家庭電器部門	6,500 億円	6,400 億円	100 億円	100 億円
その他部門	3,300 億円	3,400 億円	△100 億円	100 億円
セグメント間消去等	△4,500 億円	△5,300 億円	△50 億円	0 億円

＜修正の理由＞

欧州における政府債務危機、中国、インド等の新興経済地域における成長鈍化、円高の継続等景気減速の動きが広がり、先行きも不透明感が強まっています。

このような事業環境の下、社会インフラ部門は国内外の需要を着実に取り込むことにより、売上高、営業損益ともに前回予想値を上回り高い利益水準を確保する見込みであるものの、デジタルプロダクツ部門、電子デバイス部門が映像事業、半導体事業を中心に前回予想値より減収、減益になる見込みです。この結果、全社業績は、前回予想値からは売上高、損益ともに減少する見込みですが、売上高は前期実績とほぼ同様になる見込みであり、損益面では前期実績を上回る見込みです。

このため、当事業年度の通期の連結業績予想及びそのセグメント別内訳について、前回予想（2012年５月８日公表）を修正します。

（注） モバイル放送㈱及び携帯電話事業は米国会計基準に基づき連結損益計算書上非継続事業として取り扱われるため、過年度の売上高、営業損益、継続事業税引前純損益には同事業に係る経営成績は含まれていません。当社グループの純損益は、継続事業税引前損益にこれらの事業に係る経営成績を加減して算出されています。

また、2011 年７月に買収したランディス・ギア社に関する取得金額の資産及び負債への配分完了に伴い、2011 年度の数値を一部遡及的に組み替えて表示しています。

以　上

＊（注意事項）

本文書に記載されている事項には、当社グループの将来についての計画や戦略、業績に関する予想及び見通しの記述が含まれています。これらの記述は、当社が現時点で把握可能な情報から判断した想定及び所信に基づく当社の予測です。当社グループはグローバル企業として市場環境等が大きく異なる国や地域で広く事業活動を行っているため、実際の業績は、これに起因する多様なリスクや不確実性により、当社の予測とは大きく異なる可能性がありますので、ご承知おきください。なお、リスクのうち主なものは以下のとおりですが、これに限られるものではありません。

- 地震、台風等の大規模災害
- 国内外における訴訟その他争訟
- 当社グループが他社と提携して推進する事業の成否
- 新規事業、研究開発の成否
- 国内外の政治・経済の状況、各種規制等
- 主要市場における製品需給の急激な変動及び価格競争の激化
- 生産設備等に対する多額の資本的支出と市場の急激な変動
- 金利為替等の金融市場環境の変化